

ひがしっ子

No.5 平成 28 年 5 月 24 日発行 文責 学校長 岡林 章子

運動会、ご声援とお手伝いのお礼

5月22日(日)は、天気にも恵まれ運動会を盛大に開催することができました。多くの保護者・地域の皆様から温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。子どもたちも、規律を守っての集団行動、力を合わせての表現運動や組み立て体操など、立派に練習の成果を見せてくれました。応援団の子どもたちもきびきびとした応援で運動会を盛り上げてくれました。

運動会で発揮した「仲間と協力し合う心」「あきらめず、一生懸命努力する姿」をこれからの学校生活でも生かしてほしいと願っています。



前日午後や当日朝の準備、終了後の片付け、駐輪場のお世話等では、多くの保護者や地域の皆様がお手伝いをしてくださいました。本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。



潮江東小学校通信「ひがしっ子」No.5 返信欄

潮江中学生徒が職場体験学習

潮江中学校2年生、岡林幸海さん・橋本渉さん・濱野百花さん・中村育誠さん・吉門未唯菜さんの5人(いずれも本校卒業生)が、5月11日(水)から3日間、本校で職場体験学習をしました。

挨拶運動、授業参観、先生や用務員さんのお手伝い、絵本の読み聞かせ、給食、清掃等3日間様々な活動を行いました。子どもたちから大人気で、休み時間にはいつも中学生の周りに子どもたちの輪ができていました。小学生にとっても、身近なすばらしい目標になってくれました。



PTA活動が本格的に開始

5月11日(水)、新役員での1回目のPTA役員会、そして、地域安全部会・学年代表者会、最後に、第1回目の代議員会が行われました。

代議委員会では、各部から今年度の事業計画の発表がありました。これでPTA活動が本格実施となります。参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。今年度も、ひがしっ子の健やかな成長のため、会員の皆さまのご協力をよろしくお願いたします。



[年 組 氏名]

新たな職員等の紹介

- 児童支援員 緒嶋真由美 さん
- 学校図書館支援員 安居 真美 さん
- 放課後学び場支援員 宮 留美 さん
- 小1サポーター 戸梶 志保 さん
橋本 加寿 さん
- スクールソーシャルワーカー（SSW）
西添みゆきさん（潮江地区担当）※継続
- 学習チューター（学習支援）
大高木喜茜さん（県立大学3年）
橋口 萌花さん（ 〃 ）

民生委員の皆さんが挨拶運動

校区の民生委員の皆さんが、5月12日（木）から1週間、登校してきた子どもたちに、正門と東門前で朝の声かけをしてくださいました。職場体験の中学生や本校の生活委員会の児童も一緒になって、登校してくる子どもたちに「おはようございます。」の挨拶を呼びかけました。挨拶は日常生活の中でも大切なコミュニケーションの一つです。学校でも家庭でも朝のさわやかな挨拶で気持ちよくスタートしたいですね。

いつも地域から子どもたちのことを見守ってくださっている民生委員の皆さんに心から感謝申し上げます。



お花ボランティア



いつもボランティアで季節のお花を職員玄関に活けてくださっているのは、地域の大川邦子さんです。今年も引き続き活けて来てくださっています。

きれいなお花に迎えられると、爽やかな気持ちになります。ありがとうございます。

放課後学習室開設

本校では、昨年度から高知市こども未来部子ども育成課の事業により、4年生から6年生児童の希望者を対象に放課後や夏休み等長期休業中における学習習慣や基礎学力定着のための「放課後学習室」（のびのび教室）を開設しております。

先日、関係の手紙を配布しましたが、今年度も5月30日（月）からスタートする予定です。学習支援等を行うのは、本校職員の他、元教員や地域・保護者、学生チューターやボランティア等の方です。参加費は無料です（保険への加入金800円が必要）ので、たくさん子どもたちに参加してほしいと思います。なお、申し込み締め切りは5月25日ですが、その後も随時受け付けます。ご不明な点は、学校までお問い合わせください。

こども詩集『やまもも』第40集に 本校児童の作品が掲載

高知県こども詩集『やまもも』の第40集が発刊されました。本校からそれぞれ4人の児童の詩とカット（挿絵）が掲載されています。おめでとうございます。学校でも販売していますので、ご希望の方は、配布した注文書に代金を入れて子どもさんに持たせてください。

〔詩が掲載された児童〕

6年 山川 蒼 さん
寺井 悠晴さん
金子 晴翔さん

旧6年 平岡 奏楽さん
〔挿絵が掲載された児童〕

4年 武政 知花さん
江川奈那帆さん
6年 吉本 侑生さん
旧6年 小島 昂大さん

児童詩集『やまもも』
第40集
「またあいたくなった」



「じゃあねー。」
車に乗って出発しようとしたら、
友達が大きな声でさげんだ。
父の転勤のため鹿児島から高知へ引越す。
「じゃあね。」
と、大きい声で言い、あく手した。
車が出ると、
走って追いかけてくる友達の姿が
ミラーにうつっていた。
手をふりながら、
「じゃあね、また会おうね。」
と、何度もさげんでいる。
ぼくも車から身を乗り出してさげんだ。
「じゃあね、またね。」
と、くり返しさげんだ。
友達が小さくなっていく。
友達が見えなくなっていく。
むねがいたかった。
席に着き前を向いた。
明日から高知の生活が始まる。
さつき友達とあく手した手を見つめた。

引越す

寺井 悠晴